

コラム 40 :【言葉以外でのかわり方】

25 歳男性の方のお話です。

就職活動に失敗し、就職浪人するも 1 年間活動できず、ひきこもりがちになった息子のことを心配したお母さまが来所されました。

まずは息子との関係性を修復するために、日常会話から始めることを目標としました。

「メモ作戦」と称して、食事を用意する時に、「体調どう？」などのメモを置き始めました。

お母様には、返事が無くても当然と割り切ることをお話し、毎食メモを置くようお願いしました。本人からの反応は特にありませんでしたが、読んでいる様子がありました。

「メモ作戦」を続ける中で、息子がスーツを着て朝に出かけ、夜に帰ってくる生活が 1 週間続きました。お母様が部屋をのぞくと、就活サイトに登録したような形跡があったそうです。その後は特に変化はなく、お母様の不安はいまだ続いてはいます。しかし、本人の中で変化は起こっているのもう少し信じて待つことをお願いしています。

お子様の努力を親が認め、応援し続ける姿勢が伝わると、次への一歩につながります。相談は継続中ですが、さらに一歩踏み出せるように私たちもお母様に寄り添っていきます。